

2025 年度予算

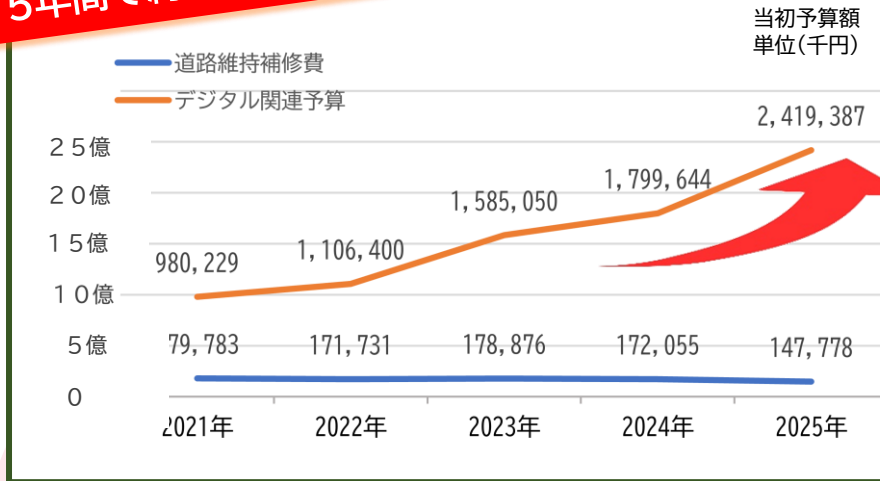
デジタル最優先で市民要望が後回しに...

日本共産党は
予算案に反対!

デジタル化は5年間で**2.5倍**へと大幅に増額し、25年度は24億円を超えました。

デジタル関連予算は
5年間で約**2.5倍**!

一方で道路維持補修費はほぼ横ばい!



市民や市内事業者が物価高騰にあえぐ中、財源や職員を割いてまで強かにデジタル化を推進すべき喫緊の課題があるとは考えられません。

市民から要望が多い道路の修繕、雑草の手入れ等に使える道路維持補修費の当初予算額は5年間ほぼ横ばいです。年度末に、余剰が出た場合、予算額を上乗せするようになりましたが、最初から予算を増やせばもっと市民の声に答えることができるはずです。

◆◆◆ 共産党の提案 ◆◆◆

- ★生活道路のでこぼこ補修を
- ★見やすいごみカレンダーに
- ★小学校の自校調理給食の継続を
- ★公立保育園給食を公営で
- ★あらゆる分野でジェンダー平等政策を
- ★市内中小事業者支援を
- ★市民と共に気候危機対策を
- ★生活保護ケースワーカー増員を

市民のくらし・いのちを守る予算へ! 市民要望の実現に取り組む予算へ!



マイナンバーカード&アイン Pay 異常な利用拡大

DX(デジタル化)推進を市政の中心に据える中で、国の補助金活用を目的に、マイナンバーカードの利用拡大が急速に広がっています。また、補助金をアインペイで支給する強要ともいえる推進も目に余る状況です。

マイナンバーカードもアインペイも利用するかどうかは市民の自由です。国も「マイナンバーカードを取得しない人が合理的な理由なく不利益に取り扱われることはあってはならない」としています。利用しない(できない)市民にも不利益なく、公平にサービスを提供することが市の責任ではないでしょうか。

●マイナンバーカードと連携するサービス●
公共施設利用システム 図書館利用カード

●アインペイで支給する補助金など●
住宅改築費 こどもの社会参画
エコ行動 地域ライター活動



日本共産党 東村山市議団NEWS



日本共産党東村山市議団 2025年3月議会 代表質問&一般質問

さとう直子 代表質問(抜粋)

- 1.物価高騰対策について
- 2.戦後80年 政府に核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求めよ
- 3.裏金の原資となる企業・団体献金を禁止すべき
- 4.市役所のパワハラ根絶の取組みを
- 5.あらゆる施策に子どもの生活実態調査をいかせ
- 6.社会参加の権利を保障する公共施設の充実と発展を
- 7.焼却炉の今後 進捗報告と周辺住民の声を聞け



山田たか子 一般質問

- 1.制度開始から25年 直面する介護保険の危機とどう向き合うのか
- 2.急がれる住宅政策と福祉政策の連携による住居支援
- 3.生徒に負担をかける英語スピーキングテストの入試活用は中止を



浅見みどり 一般質問

- 1.補聴器購入補助事業で取り残されない東村山市に
- 2.公共施設の再整備・再配置の見直しと基礎データ公表を



渡辺みのる 一般質問

- 1.下水道劣化状況の調査と修繕を
- 2.国民健康保険運営協議会委員の選任方法と基準について
- 3.最新の人口推計を基にした将来推計で学校統廃合の見直しを
- 4.萩山小学校建替え後の管理運営の在り方を問う



大企業誘致のための条例案に 共産党市議団が修正案を提案!!

市が新たに提案してきた「商工業振興条例」では、市内事業者の応援にはなりません。なぜなら—

新条例の目的 地域経済の活性化・雇用促進・税収増を理由に大手企業も含めた企業誘致!

市内の実状 市内の9割以上が中規模・小規模企業

—そこで共産党は修正案を提案しました。

共産党修正案の考え方 賛成 朝木直子委員(草)

- ・事業者の“自助努力”はもう限界!
- ・大企業優遇・企業誘致ではなく、まずは中小企業・小規模企業応援のための条例をつくろう!

修正案に反対意見 土方かつら委員(自)、石橋光明委員(公)、かくたかづほ委員(維)

- ・条例案で市の商工業基本方針が明確化され、施策に反映される。幅広い事業者支援の実効性が期待でき、修正案のように中小企業に限定する必要はない。



生活文教委員会で議論の結果、修正案は**否決**となりました

国・都・市と連携してすすめてきた 日本共産党の学校給食費無償化への取組み

◆…国会 ★…都議会 ●…市議会

★2017年9月 給食費1000円助成条例提案

◆2018年12月 吉良よしこ参議院議員 答弁「無償化は禁止していない」を引き出す



●2021年9月、2022年9月 一般質問

●2022年9月 「給食費無償化を求める意見書」提案 自公が反対

●同年11月 給食費の無償化促進を求め、尾崎あや子都議と共に東京都に要請へ

★2022年12月 給食費半額助成条例提案

●同年12月 一般質問

●2023年3月 一般質問、同年6月 代表質問

●同年6月 「給食費無償化を求める意見書」提案 全会一致で採択



★同年12月 給食費全額無償化条例を共同提案

●2024年7月 給食費の全額補助を求め、尾崎あや子都議と共に東京都に要請へ

≪2025年1月≫ 東村山で給食費無償化実現!!

くらし・都政への 要望アンケート 2025 実施中!

みなさんの声を
都政に届けます

アンケートの
回答はこちらから



渡辺 みのる
070-2177-7629



さとう 直子
090-3521-0032



浅見 みどり
080-3086-2422



山田 たか子
090-5824-7597

ひとりで抱えていませんか?
お気軽にご連絡ください。

#困った時には
共産党に相談しよう